

A社 1x EV-DO Data Location Register システム導入事例

1. サービスの紹介

携帯事業会社であるA社の1x EV-DO DLR(Data Location Register)システムは、1x EV-DOシステムにおいて、加入者に対するセッションを保存及び管理します。1x EV-DOのサービスはデータ中心のサービスであることから、セッションの容量及び処理速度がカギになると考えることができます。

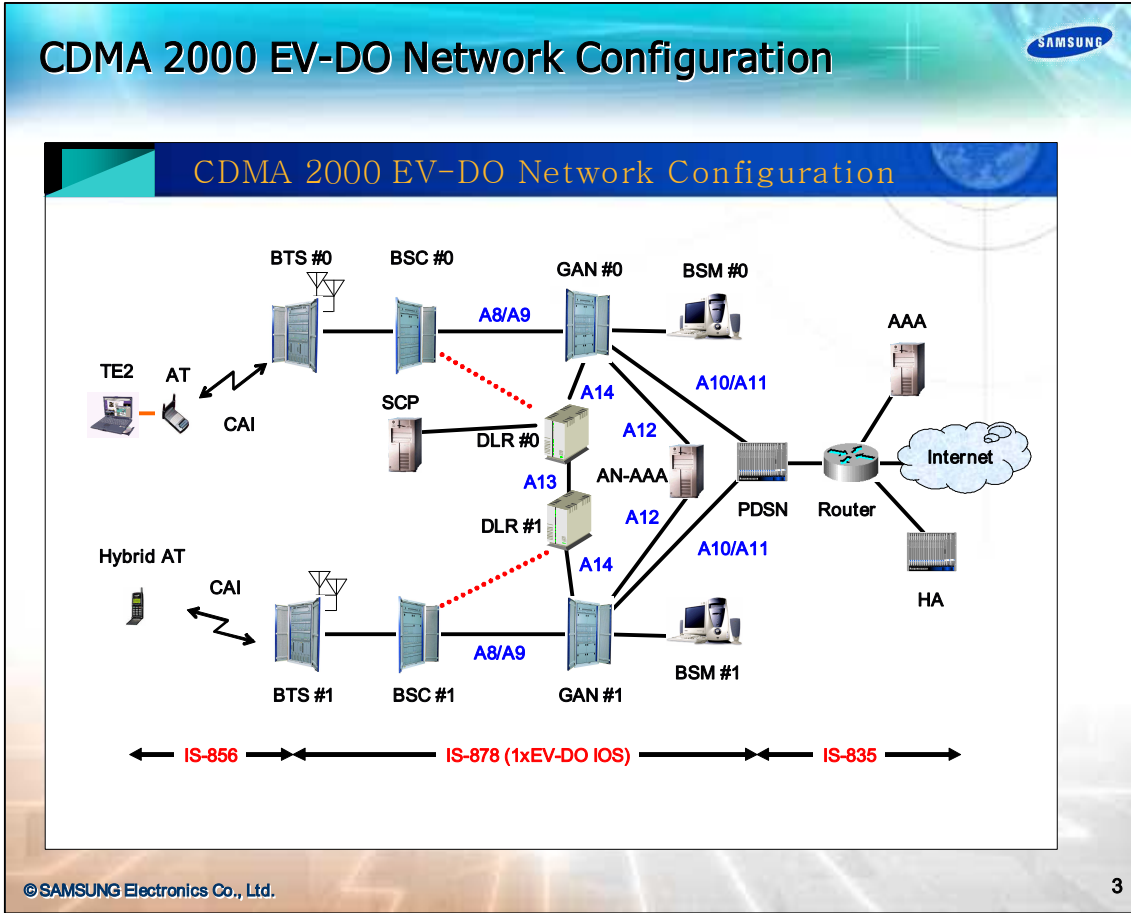
2. 導入時期及び背景

A社に供給する1x EV-DO DLR(Data Location Register)システムの開発にあたっては、加入者のセッション情報の追加・削除・更新・照会機能を高速に処理するために、セッション容量や処理速度を考慮した最適のDBMSを選択しなければなりません。ディスクベースのDBMSの場合、多量の更新による頻繁なI/Oで処理時間の遅延などが発生するため、高速な更新・照会処理が実行可能な、メモリーベースのDBMSを必要としていました。また、多数のセッションを同時に管理するために、加入者を複数のData Location Registerシステムに分散配置し、サービスのための定義情報などを共有する多重レプリケーション機能も必要とされていました。これらのシステム要件を満足するデータベースとしてALTIBASEが導入されました。

3. 運用形態及び成果

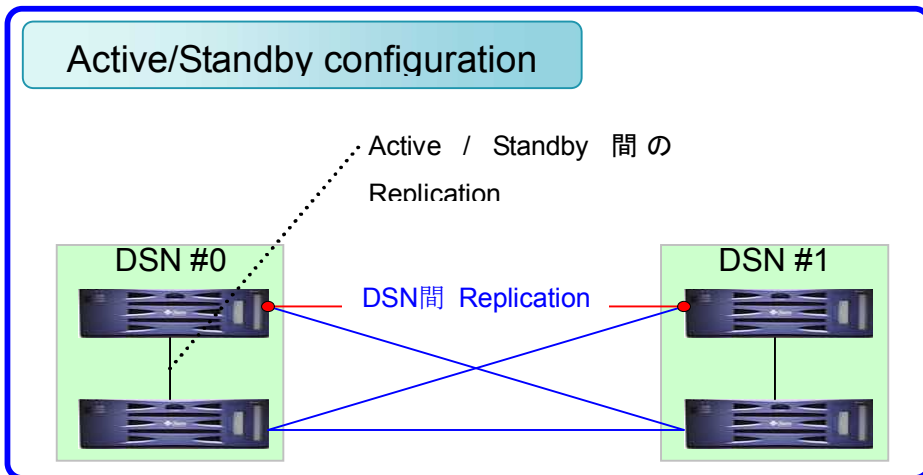
A社において運用中の1x EV-DO DLR(Data Location Register)システムは、加入者のセッション情報及びサービスに必要な各種の定義情報をメモリデータベースにリアルタイムに記録し、これらの削除・更新・照会を実行します。また、メモリデータベースでは、メモリに記録されているこれらの情報を、一定の周期で、ディスクに記録します。さらに、加入者をいくつかのDLR(Data Location Register)システムに分散収容する場合、多重レプリケーション機能により、サービスのための定義情報が変更された場合に、リアルタイムで共有します。このシステムの導入により、加入者のセッション情報をリアルタイムに管理できるようになりました。

4. システム構成



© SAMSUNG Electronics Co., Ltd.

3



サーバ	CPU	Memory	二重化構成	性能(処理速度)
SUN Netra 240	1.5 GHz 2 CPU	2 GB	Active-Standby	2000 TPS